

# 光市記者発表資料

令和3年12月16日

件名	2021年光市10大ニュースの選定について
内容	<p>標記の件につきまして、市政運営の観点から、重要性や市民生活への密着性などを踏まえて選定しました。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>2021年光市10大ニュース（日付順）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●「オールひかり」で新型コロナウイルスワクチン接種と地域経済対策を推進</li><li>●伊藤博文公生誕180年を記念し、資料館の映像をリニューアル</li><li>●東荷コミュニティセンターを東荷小学校と複合化</li><li>●岩田駅前住宅の供用を開始し、コンパクトシティ構想を推進</li><li>●光総合病院に緩和ケア病棟を開設</li><li>●各コミュニティセンターに「未来につながるまちづくり提言板」を設置</li><li>●発災時の避難所環境の整備のため、光テクノキャンパス研修センターをペット同行避難所として運用開始</li><li>●子ども医療費（中学3年生まで）の所得制限を撤廃</li><li>●東京2020パラリンピック聖火リレー山口県聖火フェスティバル光市採火式の開催</li><li>●戦時中に投下された不発弾を発見、住民避難・交通規制等を行い安全に処理</li></ul> <p>※各ニュースの詳細については、別紙の説明資料を参照してください。</p>
問合せ	担当課・係 広報・シティプロモーション推進室 広報・シティプロモーション推進係 担 当 者 村上 裕二（TEL0833-72-1409）

●「オールひかり」で新型コロナウイルスワクチン接種と地域経済対策を推進

新型コロナウイルスワクチン接種業務全般の準備や企画調整・推進を行うために 1 月 25 日に「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を設置し、光市医師会などの協力のもと、ワクチン接種を迅速かつ円滑に進めました。

また、9月から12月を使用期間とした、市民一人あたり5,000円分の市民生活・地域経済応援商品券を配布するなど、停滞する地域経済の活性化に努めました。

●伊藤博文公生誕180年を記念し、資料館の映像をリニューアル 4月1日

郷土の偉人であり、初代内閣総理大臣などの数々の要職を歴任した伊藤博文公の生誕180年を記念し、伊藤公資料館のシアターホール内の映像をリニューアルしました。

また、9月28日からは、伊藤公の大日本帝国憲法制定に至るまでの道のりを紹介する企画展を開催するなど慶祝ムードの醸成に努めました。

●東荷コミュニティセンターを東荷小学校と複合化 6月1日

老朽化した東荷コミュニティセンターを東荷小学校内に複合化しました。地域コミュニティと学校とのつながりが深まり、活力が感じられる地域づくりを進めています。

●岩田駅前住宅の供用を開始し、コンパクトシティ構想を推進 6月1日

「岩田駅周辺地区コンパクトシティの実現」に向けた取り組みの一つとして、6月1日に、県と協働して、県営住宅と合築した岩田駅前住宅の供用を開始しました。

また、岩田駅等の利用者の利便性の向上のため、駅前に駐輪場を整備し10月1日から供用を開始しました。

●光総合病院に緩和ケア病棟を開設 6月1日

療養している患者の苦痛をやわらげ、家族の悩みに寄り添うため、緩和ケア病棟を開設し、運用を開始しました。8月2日からは、緩和ケア外来の運用も始まり、患者さんが「自分らしく」穏やかな毎日を過ごすための環境づくりを支援しています。

●各コミュニティセンターに「未来につながるまちづくり提言板」を設置 6月25日

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した市民対話集会の代替事業として、6月25日から7月16日までの間、市民の皆様からまちづくりへの意見・提言をいただく「未来につながるまちづくり提言板」を各コミュニティセンターに設置するとともに、市内高等学校の皆様にもご意見をいただきました。

いただいたご意見・ご提言は、令和4年度からのまちづくりの指針となる第3次光市総合計画や今後のまちづくりの参考にさせていただきます。

●発災時の避難所環境の整備のため、光テクノキャンパス研修センターを

ペット同行避難所として運用開始 7月1日

災害時などにペットを連れていることが避難の障壁とならないよう、光テクノキャンパス研修センター（ソフトパーク（光ヶ丘）内）をペット同行避難所として試行的に運用を開始しました。本年8月の大雨や不発弾処理に伴う避難所開設時などにペット連れの皆様にご利用いただきました。

●子ども医療費（中学3年生まで）の所得制限を撤廃 8月1日

本市の「子ども医療費助成制度」について、中学3年生までの児童について所得制限を撤廃し、全ての子育て家庭が安心して子どもを産み育てることができる県内トップクラスの環境を整えました。財源には、本市の母なる川である島田川の恵みを活かした自家用工業用水道事業の収益を充てることとしました。

●東京2020パラリンピック聖火リレー

山口県聖火フェスティバル光市採火式の開催 8月16日

あいぱーく光で行われた聖火フェスティバル光市採火式では、障害者ダンスチームが日頃の練習の成果を全身で表現するとともに、まい切り式火起こしに挑戦しました。

起された火は「光市の火」として、全国各地で採火された火やパラリンピック発祥の地であるストック・マンデビル（イギリス）の火とともに東京2020パラリンピックの聖火となりました。

●戦時中に投下された不発弾を発見、

住民避難・交通規制等を行い安全に処理 11月21日

9月23日に、日鉄ステンレス株式会社山口製造所（光エリア）構内で不発弾が発見されました。このため、11月21日に、周辺住民の皆さんに避難いただき、国道188号を通行止めするなど、安全に万全を期した上で、撤去処理を行いました。作業にあたり、陸上自衛隊をはじめ、警察や公共交通事業者など多くの関係機関のご協力をいただきました。